

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称:育ち盛り)～最近の市況動向について～

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

欧州の財政悪化問題に端を発した信用不安の波及などから、グローバル・マーケットの混乱が続いております。主要新興国に関する最近の市況動向につきましてご報告いたします。

主要新興国通貨と金利の推移

<通貨:騰落率> (2010年5月21日現在)

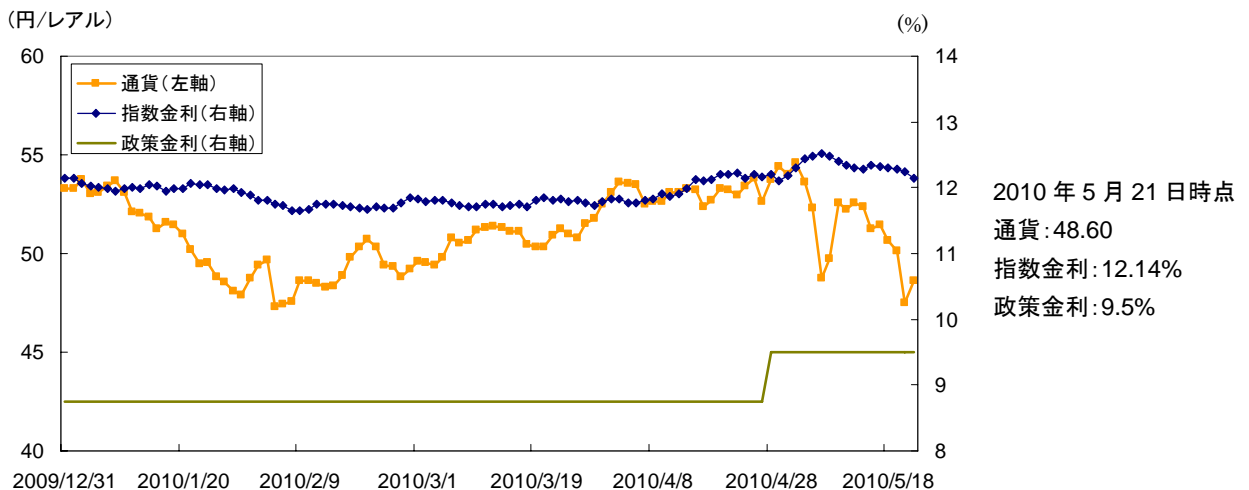
	ブラジル・レアル	ハンガリー・フォリント	トルコ・リラ	タイ・バーツ	南アフリカ・ランド
年初来	-8.85%	-17.68%	-7.93%	-0.35%	-8.85%
過去1年	4.53%	-14.19%	-6.96%	1.14%	0.92%

<金利:変化幅> (2010年5月21日現在)

	ブラジル	ハンガリー	トルコ	タイ	南アフリカ
年初来	0.00%	0.91%	0.50%	-0.06%	0.11%
過去1年	-1.06%	3.34%	-0.06%	3.18%	-0.28%

各国の通貨(対円)・指数金利・政策金利の動向(2009年12月末～2010年5月21日)

<ブラジル>



ブラジル・レアルは対円で8.85%(年初来)の下落となっております。

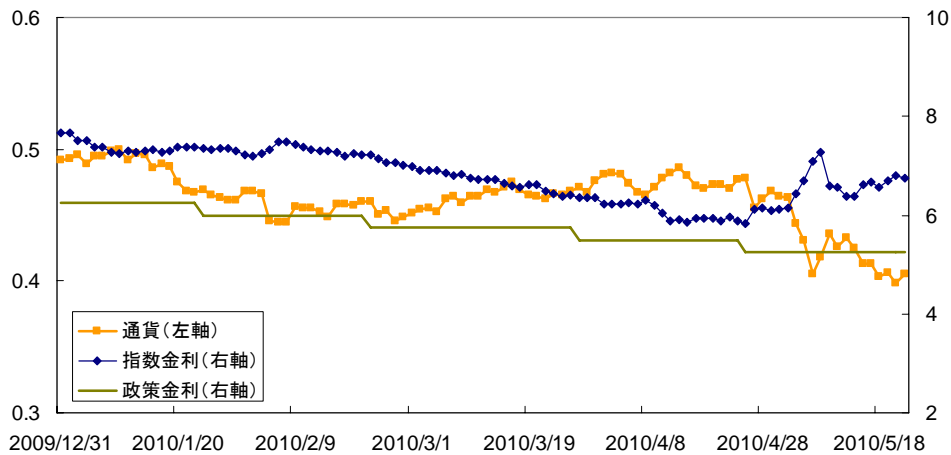
3月の小売上高指数が前年同月比+15.7%と大幅な上昇となるなど景気の過熱感が見られる中、4月の消費者物価指数(IPCA)は前年同月比で5.26%となり、足下でインフレの進行が懸念されます。そのため、中央銀行は4月の金融政策決定会合で政策金利を0.75%引き上げ、9.50%としております。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

<ハンガリー>

(円/フォロント)

(%)



2010年5月21日時点
通貨:0.41
指数金利:6.75%
政策金利:5.25%



ハンガリー・フォロントは対円で 17.68% (年初来) の下落となっております。

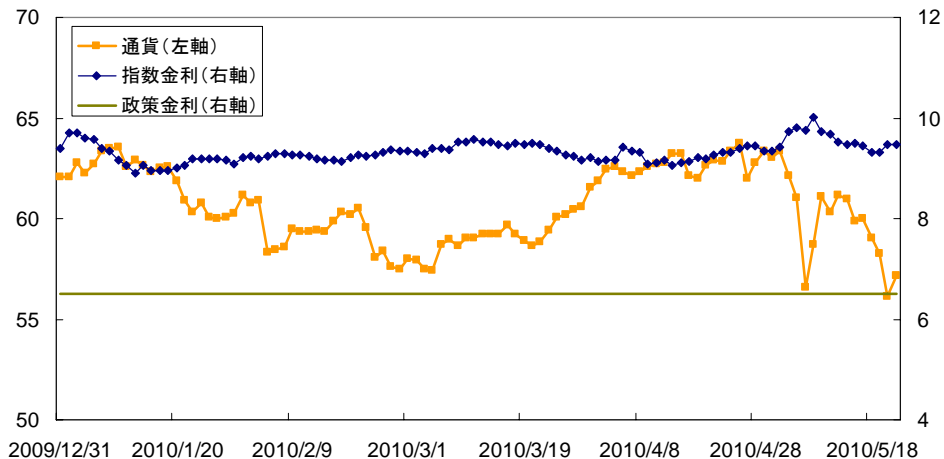
4 月下旬以降、ギリシャをはじめとする欧州の債務問題に対する懸念が広まったことを受け、大きく下落しております。

2010 年第 1 四半期実質 GDP 成長率 (前年同期比) は +0.1% と 2009 年第四半期の -4.0% からプラスに転じておりますが、依然として低成長が継続しております。こうした中、ハンガリー中央銀行は金融緩和政策を継続し、2009 年 7 月以降 10 ヶ月連続利下げを行い、政策金利を 5.25% としております。

<トルコ>

(円/リラ)

(%)



2010年5月21日時点
通貨:57.14
指数金利:9.46%
政策金利:6.5%

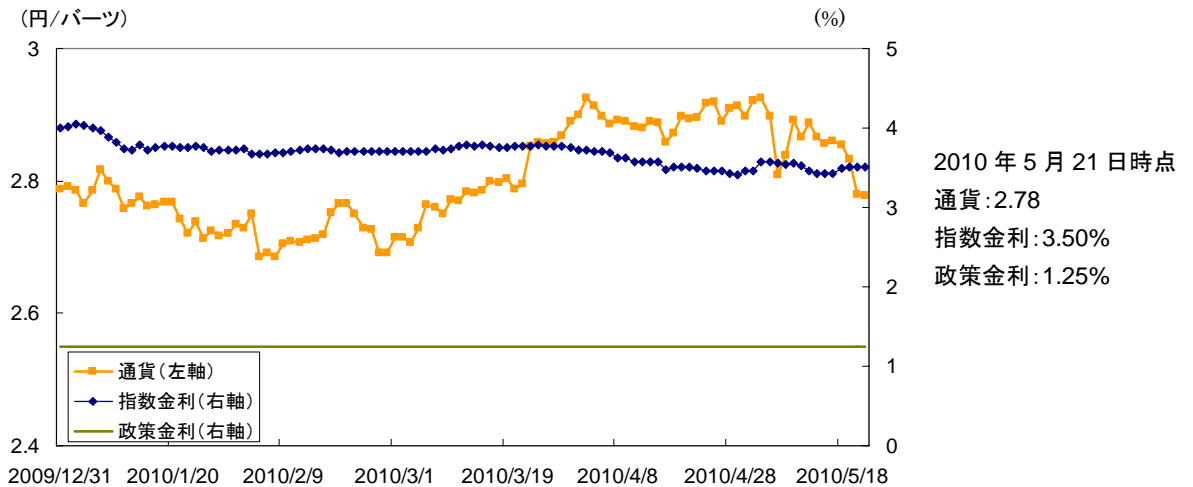


トルコ・リラは対円で 7.93% (年初来) の下落となっております。4 月下旬以降、ギリシャをはじめとする欧州の債務問題に対する懸念が広まることを受け、大きく下落しております。

3 月の鉱工業生産指数 (前年同月比) は 21.1% と 3 ヶ月連続の上昇となり、景気の堅調さが確認されております。4 月の消費者物価指数 (前年同月比) は 10.19% と 3 月の 9.56% から上昇しており、足元でインフレの加速が懸念されるものの、政策金利は昨年 11 月以来 6.5% に据え置かれております。

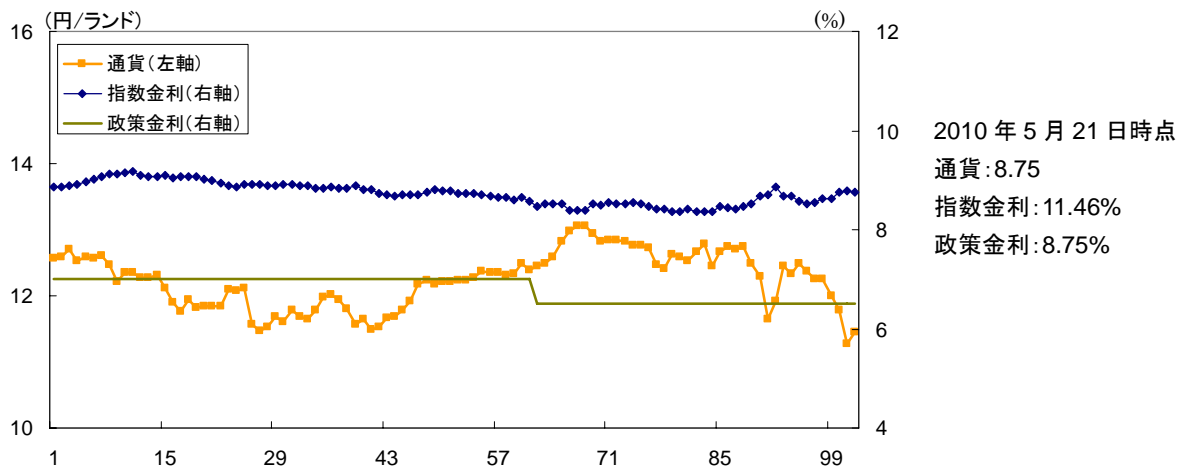
●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon Asset Management ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

<タイ>



タイ・バーツは対円で 0.35%(年初来)の下落となっております。アジア地域の経済が総じて好調であることから、概ね堅調に推移して来ましたが、5月上旬に政治的な混乱が深刻化すると、通貨は下落に転じました。ただし年初来の騰落率は小幅のマイナスに止まっております。政府のデモ隊強制排除によって政治的混乱はいったん収束を迎えたかに見えますが、今後の動向について未だ不透明感が残ります。

<南アフリカ>



南アフリカ・ランドは対円で 8.85%(年初来)の下落となっております。失業率は+25.2%(2010年1-3月期)と高止まりする一方で、3月の小売売上高は前年同月比+1.0%と14ヶ月ぶりのプラスを記録するなど経済には復調の兆しも見られます。

3月の消費者物価指数は前年同月比+5.1%と2月の+5.7%から低下しており、インフレ圧力の低下が見られます。中央銀行は3月に政策金利を0.5%引き下げて以降、金融政策決定会合で政策金利を6.5%に据え置きとしております。

出所:ブルムバーグ、JPモルガンのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成。

※指数金利は、JPモルガン GBI-EM Broad Brazil 指数を使用

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。
したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

■ 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

■ 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

● 設定・運用は

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会]社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会